

2019（R1）年7月8日（月）

「自治と協働が豊かに香る委員会づくり」

1 「策定」委員会から「はぐくむ」委員会への役割と課題

⇒ 絵に描いた条例（計画）にしない。理念条例の意義と可能性。

2 どんな地域づくりをめざすか

(1) 世界の潮流 ⇒ SDGs と新自由主義・自国ファーストの軋轢

(2) 持続可能な地域を創る4つの目標 ⇒ ①住民のすべてが、安全・安心を実感できること。

②心豊かに人間らしく暮らせること。③住んでよかったまちを、未来に継続すること。

④ハード（社会基盤・インフラ整備）、ソフト（経済・雇用、健康、社会保障、教育・文化）、ハート（世代間連帯、人材育成）

(3) 自治と協働による地域づくりの6条件

①人権が保障された地域 ②地場産業で生活できる地域 ③自然と共生し持続可能な地域

④ヨコ並びでない地域 ⑤住民参画でつくる地域 ⑥異議申し立てのできる地域

3 「自治と協働をはぐくむ条例」を学習し、評価し、改善していく。（事務局資料）

4 市民と職員の意識改革は、共同学習と協働実践から

(1) 「住民」から「市民」へ（有権者。納税者、消費者）

(2) 「木っ端役人」から「地方自治のプロフェッショナル」へ

(3) 地方自治体は、権力性とサービス性の両面を有した住民生活の共同事務局

(4) 結いの心で自治と協働をはぐくむ（市民は自立と参画、行政は市民化とスリム化）

5 「はぐくむ委員（会）」の役割

(1) 地域をよく知り、問題解決にチャレンジする人。(2) 多様な人とつながり、共に育つ喜びを分かち合える人。(3) 異業種・異分野・異世代の情報に精通し、受発信を効果的に行える人。

(4) 問題を解決に自ら行動し、総合的な「経営」感覚に秀でた人。(4) たまり場・居場所など拠点を確保し、関係機器などを調達できる人。(5) いつも「小さいところ、弱いところ、遠いところ」の人々に心を寄せられる人。(6) コーディネーターの資質 ①確かな理念。②幅広い知識と情報収集力。③豊かなスキルとファシリテーション力。④財務・広報を含むマネジメント力。⑤異世代・異分野の人と調整・協働ができるネットワーク開発力。

6 自治と協働が豊かに香る委員会づくりへの提案を出しましょう